

2026年度 授業計画（シラバス）

学科	公務員総合科	コース	—	年次	2	必修選択	必修
科目名	判断推理			担当教員	北原準司	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	実習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	公務員試験で8問以上出題されている判断推理の問題を得点源にするとともに、ひらめきと判断力に更に磨きをかけながら難問を含め様々な問題を解くことで、色々な視点から物事を捉える力と、柔軟な発想力を養う。						
授業の概要	演習ブックで1年次に扱った問題を復習したり、1年次には取り組まなかった難問に挑むことで、更なる理解をはかる。						
成績評価方法	出席状況と授業態度および定期考査						
使用教材	一般知能テキスト「課題処理 判断推理」、一般知能演習ブック「課題処理 判断推理」						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	集合	ベン図を用いて各領域を数や変数で表し、方程式を作って解く。		第14回	移動・回転・軌跡	軌跡の問題では、円弧の中心、半径、回転角に注目して解く。	
第2回	命題	対偶を利用し、記号化と三段論法を使って推論を解いていく。		第15回	折り紙と重ね合わせ	感覚ではなく確実に正解に導く移動方法で解いていく。	
第3回	対応関係	対応表を作成し○×をうめながら場合分けをして矛盾を見つけていく。		第16回	位相と経路	最短経路の考え方をまずおさえ、解いていく。	
第4回	順序関係	表や数直線、グラフなどを活用しながら条件を参考に解いていく。		第17回	方位と位置	方角だけでなく位置や距離も踏まえながら解いていく。	
第5回	位置関係	つながり方に注意して組み合わせ、可能な組み合わせを考えて解く。		第18回	立体構成	立方体を立てたり回転させたりするイメージを持ち、考えていく。	
第6回	試合の勝敗	リーグ戦では表を作成し、トーナメント戦では場合分けをして解く。		第19回	正多面体	面・頂点・辺の数からその違いを把握し問題を解いていく。	
第7回	発言推理	各人の発言から正しく導かれる命題を見つけていく。		第20回	展開図	平行な面の位置関係を正しく理解し解いていく。	
第8回	数量関係	必要な位置の数に文字を置き、式から可能な組み合わせを考える。		第21回	投影図	多方向から図形を見るイメージを身に付け解いていく。	
第9回	操作の手順	手順の回数何パターンになるかを考え、共通な解答を見つけていく。		第22回	立体の切断・結合	切断するパターンに注目し、正確な図形の切断面を定着させる。	
第10回	暗号	暗号表を完成させて問題をひも解いていく。		第23～30回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。	
第11回	規則性	図の色や形、n進法などを参考に規則性を発見して解いていく。					
第12回	平面構成	部分図の特徴などに注目し、多角的な視点から問題を解いていく。					
第13回	平面分割	対称形・回転形などを参考に解いていく。					

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	2	必修選択	必修
科目名	数的推理			担当教員	北原準司	時期	前期
単位数	1	総授業時間数	30	授業形式	実習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	数的思考が得意な学生は満点、そうでなくても最低5割の得点力を身につけさせる。具体的には、複数の解法を持ち、問題に適した解法を選べる判断力を養う。						
授業の概要	演習ブックで1年次に扱った問題を復習したり、1年次には取り組まなかった難問に挑むことで、更なる理解をはかる。						
成績評価方法	出席状況と授業態度および定期考査						
使用教材	一般知能テキスト「数的処理 数的推理」、一般知能演習ブック「数的処理 数的推理」						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	比、割合	数的推理の算数的な側面に焦点を当て、アプローチの方法を増やす。		第9回	方程式・関数・連立方程式	決まったアプローチのない問題に取り組ませ、応用力を養う。	
第2回	速さ・距離・時間	比や割合の考え方を持ち込み、アプローチの方法を増やす。		第10回	三角形と面積	演習を重ねると共に必要に応じてヘロンの公式等の数学的な知識を補完していく。	
第3回	旅人算	定番問題の解き方を解説するとともに、図を描く癖をつけさせる。		第11回	円と面積	演習を重ねると共に円周角の定理や方べきの定理等の道具を増やす。	
第4回	流水算・通過算	定番問題の解き方を解説するとともに、図を描く癖をつけさせる。		第12回	立体図形	演習を重ねると共に、必要と思われる知識を補完していく。	
第5回	仕事算	定番問題の解き方を解説し定着させる。		第13回	記数法・覆面算・魔方陣	ゲーム的な側面を活かして、楽しんで取り組ませたい。	
第6回	給排水算・ニュートン算	仕事算の応用問題に取り組ませ、チャレンジ精神を養う。		第14回	場合の数・順列	一つ一つ丁寧に解説し、アプローチの方法を増やす。順列と組合せの公式は元より、両者の違いをしっかりと理解させる。	
第7回	濃度	てんびん算の考え方をもち込み、苦手意識を払拭させる。		第15回	組合せ・確率	順列と組合せの公式は元より、両者の違いをしっかりと理解させる。	
第8回	約数・倍数・商と余り	最小公倍数、最大公約数に関する決まり・解法を習得させる。商と余りの関係を式で表す事を習得させ、できたら合同式の説明をする。					

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	2	必修選択	必修
科目名	文章理解・文芸			担当教員	清水美穂	時期	前期
単位数	2	総授業コマ数	60	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	1年次の基礎の再確認と難易度の高い問題への挑戦						
授業の概要	1年次の基礎の復習と演習問題、模擬試験問題の解説 芸術に関しては、担当を決め、調べ学習と発表も行う						
成績評価方法	出席状況と授業態度および毎回の授業の最初に行う小テスト・模試の当該科目の得点						
使用教材	一般知能テキスト「文章理解」、一般知能演習ブック「文章理解」、人文科学テキスト「国語・文学・芸術」、人文科学確認ワーク「国語・文学・芸術」、人文科学演習ブック「国語・文学・芸術」、「準2級漢字学習ステップ」						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単元	内容		単元	内容		
第1回	現代文(要旨把握) 漢字の読み 問題演習	実際に出題された過去問を解く。 漢字の学習。	第16回	西洋絵画史	西洋絵画と画家について、担当を決め発表、演習問題に取り組む。		
第2回	現代文(要旨把握) 漢字の読み 問題演習	実際に出題された過去問を解く。 漢字の学習。	第17回	西洋絵画史	西洋絵画と画家について、担当を決め発表、演習問題に取り組む。		
第3回	現代文(要旨把握) 漢字の読み 問題演習	実際に出題された過去問を解く。 漢字の学習。	第18回	西洋絵画史	西洋絵画と画家について、担当を決め発表、演習問題に取り組む。		
第4回	現代文(内容把握) ことわざ・慣用句 問題演習	実際に出題された過去問を解く。 漢字の学習。	第19回	西洋絵画史	西洋絵画と画家について、担当を決め発表、演習問題に取り組む。		
第5回	現代文(内容把握) ことわざ・慣用句 問題演習	実際に出題された過去問を解く。 漢字の学習。	第20回	西洋音楽史	西洋音楽と作曲家について、担当を決め発表、演習問題に取り組む。		
第6回	現代文(空欄補充) ことわざ・慣用句 問題演習	実際に出題された過去問を解く。 漢字の学習。	第21回	西洋音楽史	西洋音楽と作曲家について、担当を決め発表、演習問題に取り組む。		
第7回	現代文(空欄補充) ことわざ・慣用句 問題演習	実際に出題された過去問を解く。 漢字の学習。	第22回	西洋音楽史	西洋音楽と作曲家について、担当を決め発表、演習問題に取り組む。		
第8回	現代文(文章整序) 品詞・敬語 問題演習	実際に出題された過去問を解く。 漢字の学習。	第23回	古典文学史	平安・鎌倉・江戸時代の文学史について学ぶ。		
第9回	現代文(文章整序) 品詞・敬語 問題演習	実際に出題された過去問を解く。 漢字の学習。	第24回	古典文学史	平安・鎌倉・江戸時代の文学史について学ぶ。		
第10回	古文 故事成語・外来語 問題演習	実際に出題された過去問を解く。 漢字の学習。	第25回	近代文学史	近代の作家について、担当を決め発表、演習問題に取り組む。		
第11回	古文 故事成語・外来語 問題演習	実際に出題された過去問を解く。 漢字の学習。	第26回	近代文学史	近代の作家について、担当を決め発表、演習問題に取り組む。		
第12回	漢文 故事成語・外来語 問題演習	実際に出題された過去問を解く。 漢字の学習。	第27回	現代文学史	現代の作家について、担当を決め発表、演習問題に取り組む。		
第13回	英文 問題演習 作文対策	実際に出題された過去問を解く。 作文問題の対策を行う。	第28回	現代文学史	現代の作家について、担当を決め発表、演習問題に取り組む。		
第14回	英文 問題演習 作文対策	実際に出題された過去問を解く。 作文問題の対策を行う。	第29回	西洋文学史	西洋文学の作家について、担当を決め発表、演習問題に取り組む。		
第15回	英文 問題演習 作文対策	実際に出題された過去問を解く。 作文問題の対策を行う。	第30回	西洋文学史	西洋文学の作家について、担当を決め発表、演習問題に取り組む。		

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	2	必修選択	必修
科目名	政治			担当教員	伊藤さやか	時期	前期
単位数	1	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	公務員試験での確実な得点源とするとともに、社会人として公務員として遜色ない常識を身につける。						
授業の概要	国際経済の履修 1年次に履修済みの単元について復習を確実にしていき、さらに問題演習で公務員合格のための得点源としていく						
成績評価方法	授業態度、出席状況に定期考査結果を加味。						
使用教材	社会科学テキスト「政治」、社会科学演習ブック「政治」、過去問題プリント						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単元	内容			単元	内容	
第1回	主要国の政治制度	大統領制 議院内閣制 折衷型政治体制					
第2回	国際政治	主権国家の成り立ち、国際法 冷戦 国際紛争 核軍縮					
第3回	国際連合	平和維持の歴史 国際連盟 国際連合					
第4回	国際連合	国際機関 国連の安全保障活動					
第5回	民主主義の基本原則	重点復習と、過去問題による演習					
第6回	日本国憲法	重点復習と、過去問題による演習					
第7回	基本的人権	重点復習と、過去問題による演習					
第8回	国会	重点復習と、過去問題による演習					
第9回	内閣	重点復習と、過去問題による演習					
第10回	裁判所	重点復習と、過去問題による演習					
第11回	地方自治	重点復習と、過去問題による演習					
第12回	選挙	重点復習と、過去問題による演習					
第13回	主要国の政治制度	重点復習と、過去問題による演習					
第14回	国際政治	重点復習と、過去問題による演習					
第15回	国際連合	重点復習と、過去問題による演習					

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	2	必修選択	必修
科目名	経済			担当教員	伊藤さやか	時期	前期
単位数	1	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	公務員試験での確実な得点源とするとともに、社会人として公務員として遜色ない常識を身につける。						
授業の概要	国際経済の履修 1年次に履修済みの単元について復習を確実にしていき、さらに問題演習で公務員合格のための得点源としていく						
成績評価方法	授業態度、出席状況に定期考査結果を加味。						
使用教材	社会科学テキスト「経済」、社会科学演習ブック「経済」、過去問題プリント						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単元	内容			単元	内容	
第1回	日本経済史	戦後復興から現代までの経済史					
第2回	国際経済	国際収支 外国為替 国際通貨体制					
第3回	国際経済	国際通貨体制					
第4回	地域的経済統合	世界の貿易体制					
第5回	需要と供給	重点復習と、過去問題による演習					
第6回	市場	重点復習と、過去問題による演習					
第7回	企業	重点復習と、過去問題による演習					
第8回	国民所得	重点復習と、過去問題による演習					
第9回	景気変動	重点復習と、過去問題による演習					
第10回	金融	重点復習と、過去問題による演習					
第11回	財政	重点復習と、過去問題による演習					
第12回	日本経済史	重点復習と、過去問題による演習					
第13回	国際経済	重点復習と、過去問題による演習					
第14回	地域的経済統合	重点復習と、過去問題による演習					
第15回	時事	経済分野の時事問題対策					

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	2	必修選択	必修
科目名	倫理・社会			担当教員	堀内隼太	時期	前期
単位数	1	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	1年次の基礎の再確認と難易度の高い問題への挑戦						
授業の概要	1年次の基礎の復習と演習問題、模擬試験問題の解説						
成績評価方法	出席状況と授業態度及び、授業毎の復習テストと定期考査						
使用教材	一般知識テキスト「人文科学」「社会科学」及び確認ワーク、一般知識演習ブックと模擬試験問題						
履修上の注意事項	特記無し						
授業内容							
	単元	内容			単元	内容	
第1回	西洋の思想 (古代、近代)	基礎的な内容確認と演習問題、模擬試験問題の解説		第10回	社会学	基礎的な内容確認と演習問題、模擬試験問題の解説	
第2回	西洋の思想 (古代、近代)	基礎的な内容確認と演習問題、模擬試験問題の解説		第11回	労働問題	基礎的な内容確認と演習問題、模擬試験問題の解説	
第3回	西洋の思想 (古代、近代)	基礎的な内容確認と演習問題、模擬試験問題の解説		第12回	人口問題	基礎的な内容確認と演習問題、模擬試験問題の解説	
第4回	西洋の思想 (近代、現代)	基礎的な内容確認と演習問題、模擬試験問題の解説		第13回	社会保障	基礎的な内容確認と演習問題、模擬試験問題の解説	
第5回	西洋の思想 (近代、現代)	基礎的な内容確認と演習問題、模擬試験問題の解説		第14回	環境問題	基礎的な内容確認と演習問題、模擬試験問題の解説	
第6回	東洋の思想	基礎的な内容確認と演習問題、模擬試験問題の解説		第15回	その他時事	基礎的な内容確認と演習問題、模擬試験問題の解説	
第7回	東洋の思想	基礎的な内容確認と演習問題、模擬試験問題の解説					
第8回	東洋の思想	基礎的な内容確認と演習問題、模擬試験問題の解説					
第9回	社会学	基礎的な内容確認と演習問題、模擬試験問題の解説					

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	2	必修選択	必修
科目名	世界史			担当教員	堀内隼太	時期	前期
単位数	1	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	1年次の基礎の再確認と難易度の高い問題への挑戦						
授業の概要	1年次の基礎の復習と演習問題、模擬試験問題の解説						
成績評価方法	出席状況と授業態度及び、授業毎の復習テストと定期考査						
使用教材	人文科学テキスト「世界史」、人文科学ワークブック「世界史」、人文科学演習ブック「世界史」、配布プリント						
履修上の注意事項	特記無し						
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	古代文明① 問題演習	四大文明及び古代ギリシアにおけるアテネ、スパルタ、ペルシア戦争等について学ぶ。					
第2回	古代文明② 問題演習	古代ローマの共和政からポエニ戦争、内乱について解説する。					
第3回	イスラーム世界 問題演習	イスラーム教の発祥と特色及びイスラーム圏の拡大について学ぶ。					
第4回	中世ヨーロッパ ①問題演習	封建社会の成立と崩壊、都市の成立とヨーロッパ諸国の動向及び十字軍の遠征について解説する。					
第5回	中世ヨーロッパ ②問題演習	大航海時代、ルネサンスにおける文化・芸術・科学技術、宗教改革について学ぶ。					
第6回	絶対王政と市民 革命①問題演習	スペインの黄金時代、オランダの独立と繁栄、三十年戦争、フランスの宗教的内乱、ロシアの発展について					
第7回	絶対王政と市民 革命②問題演習	オーストリア継承戦争と七年戦争、イギリス革命と産業革命、アメリカの独立革命について学ぶ。					
第8回	中国史① 問題演習	古代の中国～唐について学ぶ。					
第9回	中国史② 問題演習	中世の中国：宋～近代について学ぶ。					
第10回	中国史③ 問題演習	近現代の中国：中華民国の成立～天安門事件について理解する。					
第11回	列強の帝国主義 政策①問題演習	ウィーン体制の成立と動揺、フランス革命とナポレオンの登場と改革の終結、ロシアの南下政策について解					
第12回	列強の帝国主義 政策②問題演習	イタリアの統一、ドイツ帝国の成立、アメリカ合衆国の発展と南北戦争、イギリスのインド支配について					
第13回	第一次世界大戦	三国同盟と三国協商、第一次世界大戦の勃発から終結までを学ぶ。					
第14回	第二次世界大戦	世界恐慌、ファシズムの台頭、第二次世界大戦の勃発から終結について学ぶ。					
第15回	現代	国際連合の発足、冷戦の勃発から終結について学ぶ。					

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	2	必修選択	必修
科目名	日本史			担当教員	堀内隼太	時期	前期
単位数	1	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	1年次の基礎の再確認と難易度の高い問題への挑戦						
授業の概要	1年次の基礎の復習と演習問題、模擬試験問題の解説						
成績評価方法	出席状況と授業態度及び、授業毎の復習テストと定期考査						
使用教材	人文科学テキスト「日本史」、人文科学ワークブック「日本史」、人文科学演習ブック「日本史」、配布プリント						
履修上の注意事項	特記無し						
授業内容							
	単元	内容			単元	内容	
第1回	古代① 問題演習	古墳時代までの生産活動、貧富の差、くにの形成。天皇中心中央集権国家の確立。					
第2回	古代② 問題演習	律令国家の形成過程と、奈良時代の政権の移り変わり。					
第3回	古代③ 問題演習	平安時代の政権の移り変わりと律令体制の変遷。古代文化史。					
第4回	中世① 問題演習	貴族政治から武家社会への変遷と鎌倉幕府の成立、変遷。					
第5回	中世② 問題演習	元寇の影響から鎌倉幕府滅亡への流れと鎌倉仏教を中心とした鎌倉文化。					
第6回	中世③ 問題演習	室町幕府の確立。北山文化。守護大名の理解から戦国大名の出現への流れ。東山文化。					
第7回	中世④ 問題演習	ヨーロッパ人の来航、キリスト教の伝来。織豊政権と江戸幕府の成立。					
第8回	近世① 問題演習	江戸時代初期の武断政治から文治政治への変遷。					
第9回	近世② 問題演習	幕藩体制の動揺。個々の幕政改革の特徴を把握する。元禄文化と化政文化。					
第10回	近世③ 問題演習	鎖国体制の動揺から開国に向けての流れの把握。不平等条約の締結。					
第11回	近代① 問題演習	明治維新と近代化。立憲国家の確立。自由民権運動と条約改正の変遷。					
第12回	近代② 問題演習	日清日露戦争を通して近代産業・資本主義の発達					
第13回	近代③ 問題演習	第一次世界大戦と日本。第一次・第二次護憲運動を経た政党政治の流れ。					
第14回	近代④ 問題演習	経済的不況から国家主義の出現、軍部の台頭。太平洋戦争への道。					
第15回	近代⑤ 問題演習	占領下の諸政策と朝鮮戦争からの経済成長期の過程。					

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	2	必修選択	必修
科目名	地理			担当教員	堀内隼太	時期	前期
単位数	1	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員	実務経験						
授業の到達目標	1年次の基礎の再確認と難易度の高い問題への挑戦						
授業の概要	1年次の基礎の復習と演習問題、模擬試験問題の解説						
成績評価方法	出席状況と授業態度及び、授業毎の復習テストと定期考査						
使用教材	人文科学テキスト「地理」、人文科学ワークブック「地理」、人文科学演習ブック「地理」、配布プリント						
履修上の注意事項	特記無し						
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	自然環境① 問題演習	平野の地形、海岸の地形の把握。具体例を理解する。					
第2回	自然環境② 問題演習	世界の大地形の把握。また、プレートや山地の地形の詳細と具体例の把握。					
第3回	自然環境③ 問題演習	その他の地形の把握。海、河川、湖、山脈等、場所と名称の提供を行う。					
第4回	気候・土壌① 問題演習	気候の三大要素を理解する。出題頻度の高い海流の名称を把握する。					
第5回	気候・土壌② 問題演習	ケッペンの気候区分の要点を把握する。ハイサーグラフを読みとる。					
第6回	気候・土壌③ 問題演習	土壌の把握。成帯土壌と間帯土壌の具体名称と特徴の理解。植生の把握。					
第7回	民族・宗教・ 人口問題演習	三大人種・三大宗教の把握。人口に関する具体的数値の把握。					
第8回	紛争・交通・ 地図問題演習	紛争を理解し、交通の特徴を把握する。地図の種類と特徴を把握。					
第9回	時差・農業① 問題演習	時差問題に対応するポイントを整理把握する。農業の特徴を把握。					
第10回	農業② 問題演習	それぞれの農業が行われている場所を把握。農作物と合わせて理解する。					
第11回	林業・水産業 問題演習	気候帯別に木の特徴を理解する。海域別に成立条件等、特徴を理解する。					
第12回	鉱産資源 問題演習	主な鉱産資源の国別生産割合や生産地の把握。エネルギーの変遷の理解。					
第13回	地誌① 問題演習	東アジア、東南アジア、南アジアの地誌の把握。					
第14回	地誌② 問題演習	アフリカ、ヨーロッパの地誌の把握。					
第15回	地誌③ 問題演習	南北アメリカ、オセアニアの地誌の把握。					

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	-	年次	2	必修選択	必修
科目名	物理			担当教員	柳澤淳一	時期	前期
単位数	1	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	1年次の基礎の再確認と難易度の高い問題への挑戦						
授業の概要	1年次の基礎の復習と演習問題、模擬試験問題の解説						
成績評価方法	出席状況と授業態度および定期考査						
使用教材	自然科学テキスト「物理」、自然科学演習ブック「物理」						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単元	内容			単元	内容	
第1回	力のつりあい① 問題演習	ばね(フックの法則)、浮力を理解する。		第13回	熱・原子ほか① 問題演習	「物質の三態」を理解し、熱の計算問題をできるようにする。	
第2回	力のつりあい② 問題演習	力の作図ができるようになる。		第14回	熱・原子ほか② 問題演習	原子の構造、原子核や放射能など、理解する。	
第3回	物体の運動① 問題演習	速度・加速度など、計算問題をできるようにする。		第15回	物理-総合 問題演習	物理全体の問題演習を行い、質問を受けつける。	
第4回	物体の運動② 問題演習	いろいろな落下運動など、計算問題をできるようにする。					
第5回	エネルギーと運動量① 問題演習	運動量保存則・弾性衝突を理解し、計算ができるようになる。					
第6回	エネルギーと運動量② 問題演習	さまざまな「エネルギー」の考えかたを理解する。					
第7回	電流と磁界① 問題演習	中学の「オームの法則」を総復習する。					
第8回	電流と磁界② 問題演習	電気回路・コンデンサー・電力を理解する。					
第9回	電流と磁界③ 問題演習	直流と交流、磁界を理解する。					
第10回	波動① 問題演習	波の要素・性質を理解する。					
第11回	波動② 問題演習	光の反射、レンズの性質を理解する。					
第12回	波動③ 問題演習	ドップラー効果、波の干渉などを理解する。					

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	2	必修選択	必修
科目名	地学			担当教員	柳澤淳一	時期	前期
単位数	1	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	1年次の基礎の再確認と難易度の高い問題への挑戦						
授業の概要	1年次の基礎の復習と演習問題、模擬試験問題の解説						
成績評価方法	出席状況と授業態度および定期考査						
使用教材	自然科学テキスト「地学」、自然科学演習ブック「地学」						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単元	内容			単元	内容	
第1回	地球の動きⅠ 問題演習	地球の大きさ、内部構造を理解し、プレートの運動を理解する。		第13回	総合① 応用	問題演習	
第2回	地球の動きⅡ 問題演習	太陽・星の日周・年周運動を理科し、問題演習で定着される。		第14回	総合② 応用	問題演習	
第3回	太陽系 問題演習	太陽系の構造、惑星の性質を理解する。		第15回	総合③ 応用	問題演習	
第4回	恒星 問題演習	恒星の性質（運動の法則、光の性質）を理解する。					
第5回	地震Ⅰ 問題演習	地震波の性質、伝わり方を理解する。					
第6回	地震Ⅱ 問題演習	「地震Ⅰ」の内容を問題演習で定着させ、最頻出問題を得点源にする。					
第7回	岩石の分類 問題演習	火山の分類、火成岩や堆積岩の成り方を理解する。					
第8回	地史 問題演習	地球誕生からの歴史を、生物史を通して理解する。					
第9回	天気と海洋Ⅰ 問題演習	地球の海洋の構造、海流の仕組みを理解する。					
第10回	天気と海洋Ⅱ 問題演習	地球の大気の構造を理解し、現代社会の問題、地球温暖化を考える。					
第11回	日本の天気Ⅰ 問題演習	気象現象の基本を理解し、日常的な「天気予報」がわかるようになる。					
第12回	日本の天気Ⅱ 問題演習	「日本の天気Ⅰ」の内容を問題演習で定着させる。					

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	2	必修選択	必修
科目名	生物			担当教員	中沢雅子	時期	前期
単位数	1	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	1年次の基礎の再確認と難易度の高い問題への挑戦						
授業の概要	1年次の基礎の復習と演習問題、模擬試験問題の解説						
成績評価方法	出席状況と授業態度および定期考査						
使用教材	自然科学テキスト「生物」、自然科学確認ワーク「生物」、自然科学演習ブック「生物」						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単元	内容			単元	内容	
第1回	生物① 細胞と組織 問題演習	細胞の基本構造を理解し、問題演習で記憶していく。		第16回			
第2回	生物② 光合成 問題演習	光合成の仕方を分類し、緑色植物の過程・仕組みを理解する。		第17回			
第3回	生物③ 酵素・呼吸 問題演習	酵素の働き、呼吸の過程・仕組みを理解する。		第18回			
第4回	生物④ 刺激と反応 I 問題演習	脳の構造、自律神経系の働きを理解する。		第19回			
第5回	生物⑤ 刺激と反応 II 問題演習	目の構造・耳の構造を理解し、視覚・聴覚の仕組みを理解する。		第20回			
第6回	生物⑥ ヒトの恒常性 問題演習	体温調節・水分量調節を理解する。		第21回			
第7回	生物⑦植物の反応と調節 問題演習	植物ホルモンの働きを理解し、屈性・傾性、花芽形成を理解する。		第22回			
第8回	生物⑧ 生殖・性の決定 問題演習	生殖過程を分類し、生命の連続性を理解する。		第23回			
第9回	生物⑨ 遺伝 I 問題演習	染色体やDNAの構造を理解する。		第24回			
第10回	生物⑩ 遺伝 II 問題演習	メンデルの遺伝問題を分類し、問題演習をする。		第25回			
第11回	生物⑪ 生物の集団 問題演習	植物群系の種類、熱帯林の働き、環境破壊の種類と原因を理解する。		第26回			
第12回	生物⑫ 分類・進化 問題演習	種子植物の分類とそれぞれの特徴を理解する。		第27回			
第13回	生物⑬食物連鎖 問題演習	『食べる・食べられる』の関係を理解し、生物量の問題を考えていく。		第28回			
第14回	生物⑭ 応用	問題演習		第29回			
第15回	生物⑮ 応用	問題演習		第30回			

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	2	必修選択	必修
科目名	化学			担当教員	中沢雅子	時期	前期
単位数	1	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	1年次の基礎の再確認と難易度の高い問題への挑戦						
授業の概要	1年次の基礎の復習と演習問題、模擬試験問題の解説						
成績評価方法	出席状況と授業態度および定期考査						
使用教材	自然科学テキスト「化学」、自然科学確認ワーク「化学」、自然科学演習ブック「化学」						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	化学① 物質の構成 問題演習	原子の構造を理解し、身の回りの物質のでき方を理解する。		第16回			
第2回	化学② 元素の周期表 問題演習	元素の周期表を覚え、問題演習で定着させる。		第17回			
第3回	化学③ 化学結合 問題演習	共有結合、イオン結合、金属結合を分類し、性質を理解する。		第18回			
第4回	化学④-1 化学反応と物質量 問題演習	化学反応式を作り、計算問題に活用できるようにする。		第19回			
第5回	化学④-2 化学反応と物質量 問題演習	化学反応式を作り、計算問題に活用できるようにする。		第20回			
第6回	化学⑤-1 物質の状態 問題演習	気体・固体・液体といった物質の状態変化を理解する。		第21回			
第7回	化学⑤-2 物質の状態 問題演習	気体・固体・液体といった物質の状態変化を理解する。		第22回			
第8回	化学⑥-1 酸と塩基 問題演習	酸に共通な性質と塩基に共通な性質を理解する。		第23回			
第9回	化学⑥-2 酸と塩基 問題演習	酸に共通な性質と塩基に共通な性質を理解する。		第24回			
第10回	化学⑦-1 酸化と還元 問題演習	酸化・還元の現象を理解し、計算問題まで演習する。		第25回			
第11回	化学⑦-2 酸化と還元 問題演習	酸化・還元の現象を理解し、計算問題まで演習する。		第26回			
第12回	化学⑧-1 無機物質と有機物質 問題演習	様々な物質の性質を把握する。		第27回			
第13回	化学⑨ 気体の製法と性質 問題演習	気体の特性を把握し、有害な気体の人体への影響を理解する。		第28回			
第14回	化学⑩-1 人間生活と化学 問題演習	様々な金属の精錬方法を理解する。		第29回			
第15回	化学⑩-2 人間生活と化学 問題演習	様々な金属の精錬方法を理解する。		第30回			

2026年度 授業計画（シラバス）

学科	公務員総合科	コース	—	年次	2	必修選択	必修
科目名	キャリアプランニングⅡ			担当教員	清水美穂	時期	前期
単位数	1	総授業時間数	30	授業形式	実習	授業場所	普通教室 パソコン教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	1年次に培ってきた公務員試験に向けての面接カード作成等の精度を高めるとともに、実際に受験していくための手続きに対応していく。インターネット試験申込みや願書作成、各種公務員ガイダンスへの参加を行う。また、社会人としての表現力を磨くことにも挑戦する。						
授業の概要	パソコン教室において各自、挑戦先に向けた取り組みをする。						
成績評価方法	出席状況と授業態度、および学生が作成した「面接カード」等に対する評価。						
使用教材	各公務員試験の面接カード、レジュメ						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	公務員試験に向けて	ガイダンス					
第2回	職種研究	受験スケジュール作成に向けて年間計画立て					
第3回	言葉力実践編①	表現力の総仕上げ・文章力のブラッシュアップ					
第4回	言葉力実践編②	表現力の総仕上げ・文章力のブラッシュアップ					
第5回	ボランティア	公務員総合科1年生と合同で地域のごみ拾い活動を行う。					
第6回	証明写真撮影	試験申込み、面接カードに必要な証明写真の撮影					
第7回	就職対策授業⑥	ココロの授業					
第8回	言葉力実践編③	表現力の総仕上げ・文章力のブラッシュアップ					
第9回	言葉力実践編④	表現力の総仕上げ・文章力のブラッシュアップ					
第10回	公務員試験に向けて③	国家公務員一般職のインターネット申込を行う					
第11回	言葉力実践編⑤	表現力の総仕上げ・文章力のブラッシュアップ					
第12回	言葉力実践編⑥	表現力の総仕上げ・文章力のブラッシュアップ					
第13回	就職対策授業⑦	ココロの授業					
第14回	面接カード作成①	面接ラリーを踏まえて最終形態の「面接カード」の作成に取り組む					
第15回	面接カード作成②	受験先の面接カード作成に取り組む					

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	2	必修選択	必須
科目名	プレゼンテーションⅡ			担当教員	清水美穂	時期	後期
単位数	1	総授業時間数	30	授業形式	演習	授業場所	パソコン教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	1年次に身につけた伝える技術（プレゼンテーション能力）の更なる向上を目指し、ビジネスの場で必要な表現方法を身につける。						
授業の概要	PowerPointを使わずスピーチ形式での発表と、PowerPointを使つての発表を実施する。						
成績評価方法	出席状況 授業態度 作品完成度 発表態度						
使用教材	プリント						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容					
第1回	個人発表課題①	日本を知る：東北調査 東日本大震災から学ぶ					
第2回	個人発表課題①	日本を知る：東北調査 東日本大震災から学ぶ					
第3回	個人発表課題①	日本を知る：東北調査 東日本大震災から学ぶ					
第4回	個人発表課題①	日本を知る：東北調査 東日本大震災から学ぶ(発表会)					
第5回	個人発表課題①	海外を知る：東北調査 東日本大震災を通じて台湾とのつながりを学ぶ					
第6回	個人発表課題②	指定課題についての調査 PowerPoint制作					
第7回	個人発表課題②	指定課題についての調査 PowerPoint制作					
第8回	個人発表課題②	指定課題についての調査 PowerPoint制作					
第9回	個人発表課題②	指定課題についての調査 PowerPoint制作					
第10回	個人発表課題②	指定課題についての調査 (発表会)					
第11回	プレゼンカ 総まとめ	卒業研究発表会に向けての発表準備					
第12回	プレゼンカ 総まとめ	卒業研究発表会に向けての発表準備					
第13回	プレゼンカ 総まとめ	卒業研究発表会に向けての発表準備					
第14回	プレゼンカ 総まとめ	卒業研究発表会に向けての発表準備					
第15回	プレゼンカ 総まとめ	卒業研究発表会に向けての発表準備					

2026年度 授業計画（シラバス）

学科	公務員総合科	コース	—	年次	1	必修選択	必修
科目名	判断推理			担当教員	北原準司	時期	前期・後期
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	実習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	公務員試験で8問以上出題されている判断推理の問題を得点源にするとともに、ひらめきと判断力に磨きをかけながら様々な問題を解くことで、色々な視点から物事を捉える力と、柔軟な発想力を養う。						
授業の概要	後期中盤までで定番問題をインプットし、それが終わり次第、過去の模試プリントを用いてアウトプットを重ねる。						
成績評価方法	出席状況と授業態度および授業で行う定期的なテスト						
使用教材	一般知能テキスト「課題処理 判断推理」、一般知能演習ブック「課題処理 判断推理」						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単元	内容			単元	内容	
第1回	集合	ベン図を用いて各領域を数や変数で表し、方程式を作って解く。		第16回	移動・回転・軌跡	軌跡の問題では、円弧の中心、半径、回転角に注目して解く。	
第2回	命題	対偶を利用し、記号化と三段論法を使って推論を解いていく。		第17回	折り紙と重ね合わせ	感覚ではなく確実に正解に導く移動方法で解いていく。	
第3回	対応関係	対応表を作成し○×をうめながら場合分けをして矛盾を見つけていく。		第18回	位相と経路	最短経路の考え方をまずおさえ、解いていく。	
第4回	対応関係	対応表を作成し○×をうめながら場合分けをして矛盾を見つけていく。		第19回	方位と位置	方角だけでなく位置や距離も踏まえながら解いていく。	
第5回	順序関係	表や数直線、グラフなどを活用しながら条件を参考に解いていく。		第20回	立体構成	立方体を立てたり回転させたりするイメージを持ち、考えていく。	
第6回	位置関係	つながり方に注意して組み合わせ、可能な組み合わせを考えて解く。		第21回	正多面体	面・頂点・辺の数からその違いを把握し問題を解いていく。	
第7回	試合の勝敗	リーグ戦では表を作成し、トーナメント戦では場合分けをして解く。		第22回	展開図	平行な面の位置関係を正しく理解し解いていく。	
第8回	発言推理	各人の発言から正しく導かれる命題を見つけていく。		第23回	投影図	多方向から図形を見るイメージを身に付け解いていく。	
第9回	数量関係	必要な位置の数に文字を置き、式から可能な組み合わせを考える。		第24回	立体の切断・結合	切断するパターンに注目し、正確な図形の切断面を定着させる。	
第10回	操作の手順	手順の回数何パターンになるかを考え、共通な解答を見つけていく。		第25回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。	
第11回	暗号	暗号表を完成させて問題をひも解いていく。		第26回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。	
第12回	暗号	暗号表を完成させて問題をひも解いていく。		第27回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。	
第13回	規則性	図の色や形、n進法などを参考に規則性を発見して解いていく。		第28回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。	
第14回	平面構成	部分図の特徴などに注目し、多角的な視点から問題を解いていく。		第29回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。	
第15回	平面分割	対称形・回転形などを参考に解いていく。		第30回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。	

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	1	必修選択	必修
科目名	数的推理			担当教員	北原準司	時期	前期・後期
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	実習	授業場所	普通教室
実務教員	実務経験						
授業の到達目標	数的思考が得意な学生は満点、そうでなくても最低5割の得点力を身につけさせる。具体的には、複数の解法を持ち、問題に適した解法を選べる判断力を養う。						
授業の概要	後期の中盤までで定番問題をインプットし、それが終わり次第、過去の模試プリントを用いてアウトプットを重ねる。						
成績評価方法	出席状況と授業態度および授業で行う小テストの結果						
使用教材	一般知能テキスト「数的処理 数的推理」、一般知能演習ブック「数的処理 数的推理」						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	比、割合	数的推理の算数的な側面に焦点を当て、アプローチの方法を増やす。		第16回	円と面積	演習を重ねると共に円周角の定理や方べきの定理等の道具を増やす。	
第2回	速さ・距離・時間	比や割合の考え方を持ち込み、アプローチの方法を増やす。		第17回	円と面積	演習を重ねると共に円周角の定理や方べきの定理等の道具を増やす。	
第3回	旅人算	定番問題の解き方を解説するとともに、図を描く癖をつけさせる。		第18回	立体図形	演習を重ねると共に、必要と思われる知識を補完していく。	
第4回	流水算・通過算	定番問題の解き方を解説するとともに、図を描く癖をつけさせる。		第19回	立体図形	演習を重ねると共に、必要と思われる知識を補完していく。	
第5回	仕事算	定番問題の解き方を解説し定着させる。		第20回	記数法・覆面算・魔方陣	ゲーム的な側面を活かして、楽しんで取り組ませたい。	
第6回	給排水算・ニュートン算	仕事算の応用問題に取り組みせ、チャレンジ精神を養う。		第21回	場合の数	一つ一つ丁寧に解説し、アプローチの方法を増やす。	
第7回	濃度	てんびん算の考え方を持ち込み、苦手意識を払拭させる。		第22回	順列	順列と組合せの公式は元より、両者の違いをしっかりと理解させる。	
第8回	約数・倍数	最小公倍数、最大公約数に関する決まり・解法を習得させる。		第23回	組合せ	順列と組合せの公式は元より、両者の違いをしっかりと理解させる。	
第9回	約数・倍数	最小公倍数、最大公約数に関する決まり・解法を習得させる。		第24回	確率	第21～23回で習得した技術を活かしながら演習を重ねる。	
第10回	商と余り	商と余りの関係を式で表す事を習得させ、できたら合同式の説明をする。		第25回	確率	第21～23回で習得した技術を活かしながら演習を重ねる。	
第11回	方程式・関数	決まったアプローチのない問題に取り組みせ、応用力を養う。		第26回	問題演習	過去問を元に演習を重ね、実践力を鍛える。	
第12回	連立方程式	決まったアプローチのない問題に取り組みせ、応用力を養う。		第27回	問題演習	過去問を元に演習を重ね、実践力を鍛える。	
第13回	連立方程式	決まったアプローチのない問題に取り組みせ、応用力を養う。		第28回	問題演習	過去問を元に演習を重ね、実践力を鍛える。	
第14回	三角形と面積	演習を重ねると共に必要に応じてヘロンの公式等の数学的な知識を補完していく。		第29回	問題演習	過去問を元に演習を重ね、実践力を鍛える。	
第15回	三角形と面積	演習を重ねると共に必要に応じてヘロンの公式等の数学的な知識を補完していく。		第30回	問題演習	過去問を元に演習を重ね、実践力を鍛える。	

2026年度 授業計画（シラバス）

学科	公務員総合科	コース	—	年次	1	必修選択	必修
科目名	文章理解・文芸			担当教員	伊藤さやか	時期	前期・後期
単位数	4	総授業コマ数	60	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	平安時代以降の様々な文章を読み、問題を解くことによって、公務員試験の問題に正解し、公務員として正しく文書を理解し、住民の方と正確なコミュニケーションをとるための力をつける。また、国語・文学・芸術の知識をつける。						
授業の概要	テキストで基本的な考え方や問題の解き方を身に付け、演習ブックで類似問題を繰り返し解くことで定着させる。						
成績評価方法	出席状況と授業態度および、当該科目の模擬試験の点数						
使用教材	一般知能テキスト「文章理解」、一般知能演習ブック「文章理解」、人文科学テキスト「国語・文学・芸術」、人文科学確認ワーク「国語・文学・芸術」、人文科学演習ブック「国語・文学・芸術」、「準2級漢字学習ステップ」						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単元	内容			単元	内容	
第1回	文章理解 概略説明	テキストを利用し、科目の概略について説明。授業の進め方の説明。		第16回	漢字の読み	公務員試験に出題される代表的な特別な読み方の漢字を学ぶ（訓読）	
第2回	現代文（要旨把握）	文章の最後や、ポイントとなる接続語などに注目して解いていく。		第17回	ことわざ・慣用句	公務員試験に出題される代表的なことわざ・慣用句の意味用法を学ぶ	
第3回	現代文（要旨把握）	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。		第18回	ことわざ・慣用句	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。	
第4回	現代文（内容把握）	文章の中でポイントになる文に注目しながら書かれていることを理解する。		第19回	故事成語・外来語	公務員試験に出題される代表的な故事成語・外来語の意味用法を学ぶ	
第5回	現代文（内容把握）	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。		第20回	故事成語・外来語	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。	
第6回	現代文（空欄補充）	前後の語句に注目して解いていく。		第21回	四字熟語	公務員試験に出題される代表的な数字を使った四字熟語を学ぶ	
第7回	現代文（空欄補充）	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。		第22回	敬語	公務員試験に出題される代表的な敬語の用法を学ぶ	
第8回	現代文（文章整序）	それぞれの短文の始めにくる文に注目して解いていく。		第23回	敬語	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。	
第9回	現代文（文章整序）	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。		第24回	品詞の用法	公務員試験に出題される代表的な品詞の用法を学ぶ	
第10回	漢字検定対策	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。		第25回	作文	公務員試験に出題される作文の書き方・留意点を学ぶ	
第11回	古文	時代背景やポイントとなる単語・文法などに注目して解いていく。		第26回	日本の文学（古典）	奈良時代から江戸時代までの文学作品について簡単に学ぶ	
第12回	漢文	基本的な漢文の語句・構文を学び、代表的な文章を読むことで問題を解くコツを学ぶ。		第27回	日本の文学（現代文）	明治時代から現代までの文学作品について簡単に学ぶ	
第13回	漢字の用法	公務員試験に出題される代表的な同音異字・同訓異字の漢字を学ぶ		第28回	外国文学	外国文学について学び演習問題に取り組む。	
第14回	反対語・対義語	公務員試験に出題される代表的な反対語・対義語の漢字を学ぶ		第29回	西洋の美術史	ルネサンス時代から近代までの西洋美術史を簡単に学ぶ	
第15回	漢字の読み	公務員試験に出題される代表的な特別な読み方の漢字を学ぶ（音読）		第30回	音楽	実際に音楽を聴きながら、西洋の音楽史について簡単に学ぶ。	

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	1	必修選択	必修
科目名	政治・経済			担当教員	北原 準司	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	公務員試験での確実な得点源とするとともに、社会人として公務員として遜色ない常識を身につける						
授業の概要	主に国内政治、国内経済について講義により知識を深め、問題演習によりその定着を図る						
成績評価方法	授業態度、出席状況に定期考査結果を加味						
使用教材	社会科学テキスト「政治」、社会科学演習ブック「政治」 社会科学テキスト「経済」、社会科学演習ブック「経済」						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	日本国憲法	日本国憲法の基本原則を 大日本帝国憲法との違いから学ぶ					
第2回	日本国憲法	日本国憲法の基本原則を 大日本帝国憲法との違いから学ぶ					
第3回	基本的人権	判例とともに基本的人権を理解する					
第4回	基本的人権	判例とともに基本的人権を理解する					
第5回	基本的人権	判例とともに基本的人権を理解する					
第6回	国会	参議院・衆議院それぞれの役割を知るととも に、衆議院の優越について学ぶ					
第7回	内閣	構成・職務・権限について知識を深め、議院内 閣制を正しく理解する					
第8回	裁判所	裁判所の構成と裁判官の職務、裁判制度の学習 により、司法権の独立について理解する					
第9回	地方自治	本旨・仕組・住民の権利・事務と財政を学び、 地方自治の意義について理解する					
第10回	選挙と政党	選挙の仕組みを学ぶ					
第11回	市場経済	市場の種類と特徴を掴み、自身がそのプレー であることを認識する。					
第12回	企業	多様な形態とそれぞれの存在理由を知るととも に、株式会社、中小企業について理解する					
第13回	国民所得	一国の豊かさがどのような指標で表現されてい るのかを知る。					
第14回	金融	日本銀行の役割と金融政策について理解する。					
第15回	財政	国家予算のなりたちと税金について知識を深め る。					

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	1	必修選択	必修
科目名	世界史			担当教員	堀内隼太	時期	後期
単位数	2	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	広範囲に及ぶ出題の対象になる範囲の習得を半年で目指す。5問択一式の問題において、一問でも多く選択肢を消去できるように知識量を増やし、カギとなる用語を起点として正解を導けるようにする。						
授業の概要	テキストや板書で説明し、質疑応答で内容把握を確認すると共に、次の授業の冒頭で復習テストで知識の安定を図る。						
成績評価方法	出席状況と授業態度、復習テスト、定期考査の結果						
使用教材	人文科学テキスト「世界史」、人文科学ワークブック「世界史」、人文科学演習ブック「世界史」、配布プリント						
履修上の注意事項	特記無し						
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	古代文明① 基礎	四大文明及び古代ギリシアにおけるアテネ、スパルタ、ペルシア戦争等について学ぶ。					
第2回	古代文明② 基礎	古代ローマの共和政からポエニ戦争、内乱について解説する。					
第3回	イスラーム世界 基礎	イスラーム教の発祥と特色及びイスラーム圏の拡大について学ぶ。					
第4回	中世ヨーロッパ ① 基礎	封建社会の成立と崩壊、都市の成立とヨーロッパ諸国の動向及び十字軍の遠征について解説する。					
第5回	中世ヨーロッパ ① 基礎	大航海時代、ルネサンスにおける文化・芸術・科学技術、宗教改革について学ぶ。					
第6回	絶対王政と市民 革命① 基礎	スペインの黄金時代、オランダの独立と繁栄、三十年戦争、フランスの宗教的内乱、ロシアの発展について					
第7回	絶対王政と市民 革命② 基礎	オーストリア継承戦争と七年戦争、イギリス革命と産業革命、アメリカの独立革命について学ぶ。					
第8回	中国史① 基礎	古代の中国～唐について学ぶ。					
第9回	中国史② 基礎	中世の中国：宋～近代について学ぶ。					
第10回	中国史③ 基礎	近現代の中国：中華民国の成立～天安門事件について理解する。					
第11回	列強の帝国主義 政策 基礎	ウィーン体制の成立と動揺、フランス革命とナポレオンの登場と改革の終結、ロシアの南下政策について解					
第12回	列強の帝国主義 政策 基礎	イタリアの統一、ドイツ帝国の成立、アメリカ合衆国の発展と南北戦争、イギリスのインド支配について					
第13回	第一次世界大戦 ① 基礎	三国同盟と三国協商、第一次世界大戦の勃発から終結までを学ぶ。					
第14回	第二次世界大戦 ② 基礎	世界恐慌、ファシズムの台頭、第二次世界大戦の勃発から終結について学ぶ。					
第15回	現代 基礎	国際連合の発足、冷戦の勃発から終結について学ぶ。					

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	1	必修選択	必修
科目名	日本史			担当教員	堀内隼太	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	広範囲に及ぶ出題の対象になる範囲の習得を半年で目指す。5択一式の問題において、一問でも多く選択肢を消去できるように知識量を増やし、カギとなる用語を起点として正解を導けるようにする。						
授業の概要	テキストや板書で説明し、質疑応答で内容把握を確認すると共に、次の授業の冒頭で復習テストで知識の安定を図る。						
成績評価方法	出席状況と授業態度、復習テスト、定期考査の結果						
使用教材	人文科学テキスト「日本史」、人文科学ワークブック「日本史」、人文科学演習ブック「日本史」、配布プリント						
履修上の注意事項	特記無し						
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	古代①基礎	古墳時代までの生産活動、貧富の差、くにの形成。天皇中心中央集権国家の確立。					
第2回	古代②基礎	律令国家の形成過程と、奈良時代の政権の移り変わり。					
第3回	古代③基礎	平安時代の政権の移り変わりと律令体制の変遷。古代文化史。					
第4回	中世①基礎	貴族政治から武家社会への変遷と鎌倉幕府の成立、変遷。					
第5回	中世②基礎	元寇の影響から鎌倉幕府滅亡への流れと鎌倉仏教を中心とした鎌倉文化。					
第6回	中世③基礎	室町幕府の確立。北山文化。守護大名の理解から戦国大名の出現への流れ。東山文化。					
第7回	中世④基礎	ヨーロッパ人の来航、キリスト教の伝来。織豊政権と江戸幕府の成立。					
第8回	近世①基礎	江戸時代初期の武断政治から文治政治への変遷。					
第9回	近世②基礎	幕藩体制の動揺。個々の幕政改革の特徴を把握する。元禄文化と化政文化。					
第10回	近世③基礎	鎖国体制の動揺から開国に向けての流れの把握。不平等条約の締結。					
第11回	近代①基礎	明治維新と近代化。立憲国家の確立。自由民権運動と条約改正の変遷。					
第12回	近代②基礎	日清日露戦争を通して近代産業・資本主義の発達					
第13回	近代③基礎	第一次世界大戦と日本。第一次・第二次護憲運動を経た政党政治の流れ。					
第14回	近代④基礎	経済的不況から国家主義の出現、軍部の台頭。太平洋戦争への道。					
第15回	近代⑤基礎	占領下の諸政策と朝鮮戦争からの経済成長期の過程。					

2026年度 授業計画（シラバス）

学科	公務員総合科	コース	—	年次	1	必修選択	必修
科目名	地理			担当教員	堀内隼太	時期	後期
単位数	2	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	広範囲に及ぶ出題の対象になる範囲の習得を半年で目指す。5択一式の問題において、一問でも多く選択肢を消去できるように知識を増やし、カギとなる用語を起点として正解を導けるようにする。						
授業の概要	テキストや板書で説明し、質疑応答で内容把握を確認すると共に、次の授業の冒頭で復習テストで知識の安定を図る。						
成績評価方法	出席状況と授業態度、復習テスト、定期考査の結果						
使用教材	人文科学テキスト「地理」、人文科学ワークブック「地理」、人文科学演習ブック「地理」、配布プリント						
履修上の注意事項	特記無し						
授業内容							
	単元	内容			単元	内容	
第1回	自然環境① 基礎	平野の地形、海岸の地形の把握。具体例を理解する。					
第2回	自然環境② 基礎	世界の大地形の把握。また、プレートや山地の地形の詳細と具体例の把握。					
第3回	自然環境③ 基礎	その他の地形の把握。海、河川、湖、山脈等、場所と名称の提供を行う。					
第4回	気候・土壌① 基礎	気候の三大要素を理解する。出題頻度の高い海流の名称を把握する。					
第5回	気候・土壌② 基礎	ケッペンの気候区分の要点を把握する。ハイサーグラフを読みとる。					
第6回	気候・土壌③ 基礎	土壌の把握。成帯土壌と間帯土壌の具体名称と特徴の理解。植生の把握。					
第7回	民族・宗教・ 人口 基礎	三大人種・三大宗教の把握。人口に関する具体的数値の把握。					
第8回	紛争・交通・ 地図 基礎	紛争を理解し、交通の特徴を把握する。地図の種類と特徴を把握。					
第9回	時差・農業① 基礎	時差問題に対応するポイントを整理把握する。農業の特徴を把握。					
第10回	農業②基礎	それぞれの農業が行われている場所を把握。農作物と合わせて理解する。					
第11回	林業・水産業 基礎	気候帯別に木の特徴を理解する。海域別に成立条件等、特徴を理解する。					
第12回	鉱産資源 基礎	主な鉱産資源の国別生産割合や生産地の把握。エネルギーの変遷の理解。					
第13回	地誌①基礎	東アジア、東南アジア、南アジアの地誌の把握。					
第14回	地誌②基礎	アフリカ、ヨーロッパの地誌の把握。					
第15回	地誌③基礎	南北アメリカ、オセアニアの地誌の把握。					

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	物理			担当教員	柳澤淳一	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	公務員試験で必ず出題される物理の問題を得点源にするとともに、日常生活や社会との関連をはかり、目的意識を持って、身の回りに起こる事象を探求する、科学的な見方・考え方を養う。						
授業の概要	テキストで基本的事項を暗記、問題の解き方を身に付け、演習ブックで類似問題を繰り返し解くことで定着させる。						
成績評価方法	出席状況と授業態度および定期考査						
使用教材	自然科学テキスト「物理」、自然科学演習ブック「物理」						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	力のつりあい① 基礎	ばね(フックの法則)、浮力を理解する。		第13回	熱・原子ほか① 基礎	「物質の三態」を理解し、熱の計算問題をできるようにする。	
第2回	力のつりあい② 基礎	力の作図ができるようになる。		第14回	熱・原子ほか② 基礎	原子の構造、原子核や放射能など、理解する。	
第3回	物体の運動① 基礎	速度・加速度など、計算問題をできるようにする。		第15回	物理-総合 基礎	物理全体の問題演習を行い、質問を受けつける。	
第4回	物体の運動② 基礎	いろいろな落下運動など、計算問題をできるようにする。					
第5回	エネルギーと運動量① 基礎	運動量保存則・弾性衝突を理解し、計算ができるようになる。					
第6回	エネルギーと運動量② 基礎	さまざまな「エネルギー」の考えかたを理解する。					
第7回	電流と磁界① 基礎	中学の「オームの法則」を総復習する。					
第8回	電流と磁界② 基礎	電気回路・コンデンサー・電力を理解する。					
第9回	電流と磁界③ 基礎	直流と交流、磁界を理解する。					
第10回	波動① 基礎	波の要素・性質を理解する。					
第11回	波動② 基礎	光の反射、レンズの性質を理解する。					
第12回	波動③ 基礎	ドップラー効果、波の干渉などを理解する。					

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	地学			担当教員	柳澤淳一	時期	後期
単位数	2	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	公務員試験で必ず出題される地学の問題を得点源にするとともに、日常的な話題・ニュースで取り上げられる気象・環境問題などに関心をもって取り組める知的好奇心を養う。						
授業の概要	テキストで基本的事項を暗記、問題の解き方を身に付け、演習ブックで類似問題を繰り返し解くことで定着させる。						
成績評価方法	出席状況と授業態度および定期考査						
使用教材	自然科学テキスト「地学」、自然科学確認ワーク「地学」、自然科学演習ブック「地学」						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	地球の動きⅠ 基礎	地球の大きさ、内部構造を理解し、プレートの運動を理解する。		第13回	総合① 基礎	問題演習	
第2回	地球の動きⅡ 基礎	太陽・星の日周・年周運動を理科し、問題演習で定着される。		第14回	総合② 基礎	問題演習	
第3回	太陽系 基礎	太陽系の構造、惑星の性質を理解する。		第15回	総合③ 基礎	問題演習	
第4回	恒星 基礎	恒星の性質（運動の法則、光の性質）を理解する。					
第5回	地震Ⅰ 基礎	地震波の性質、伝わり方を理解する。					
第6回	地震Ⅱ 基礎	「地震Ⅰ」の内容を問題演習で定着させ、最頻出問題を得点源にする。					
第7回	岩石の分類 基礎	火山の分類、火成岩や堆積岩の成り方を理解する。					
第8回	地史 基礎	地球誕生からの歴史を、生物史を通して理解する。					
第9回	天気と海洋Ⅰ 基礎	地球の海洋の構造、海流の仕組みを理解する。					
第10回	天気と海洋Ⅱ 基礎	地球の大気の構造を理解し、現代社会の問題、地球温暖化を考える。					
第11回	日本の天気Ⅰ 基礎	気象現象の基本を理解し、日常的な「天気予報」がわかるようになる。					
第12回	日本の天気Ⅱ 基礎	「日本の天気Ⅰ」の内容を問題演習で定着させる。					

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	1	必修選択	必修
科目名	生物			担当教員	中沢雅子	時期	前期
単位数	2	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	生物の問題を得点源にするとともに、現代社会で問題視される「生命感・倫理観を養い、生命の問題を考える基礎を身につける。						
授業の概要	テキストで基本的事項を暗記、問題の解き方を身に付け、演習ブックで類似問題を繰り返し解くことで定着させる。						
成績評価方法	出席状況と授業態度および定期考査						
使用教材	自然科学テキスト「生物」、自然科学確認ワーク「生物」、自然科学演習ブック「生物」						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単元	内 容			単元	内 容	
第1回	生物① 細胞と組織基礎	細胞の基本構造を理解し、問題演習で記憶していく。		第16回			
第2回	生物② 光合成基礎	光合成の仕方を分類し、緑色植物の過程・仕組みを理解する。		第17回			
第3回	生物③ 酵素・呼吸基礎	酵素の働き、呼吸の過程・仕組みを理解する。		第18回			
第4回	生物④ 刺激と反応Ⅰ基礎	脳の構造、自律神経系の働きを理解する。		第19回			
第5回	生物⑤ 刺激と反応Ⅱ基礎	目の構造・耳の構造を理解し、視覚・聴覚の仕組みを理解する。		第20回			
第6回	生物⑥ ヒトの恒常性基礎	体温調節・水分量調節を理解する。		第21回			
第7回	生物⑦植物の反応と調節基礎	植物ホルモンの働きを理解し、屈性・傾性、花芽形成を理解する。		第22回			
第8回	生物⑧ 生殖・性の決定基礎	生殖過程を分類し、生命の連続性を理解する。		第23回			
第9回	生物⑨ 遺伝Ⅰ基礎	染色体やDNAの構造を理解する。		第24回			
第10回	生物⑩ 遺伝Ⅱ基礎	メンデルの遺伝問題を分類し、問題演習をする。		第25回			
第11回	生物⑪ 生物の集団基礎	植物群系の種類、熱帯林の働き、環境破壊の種類と原因を理解する。		第26回			
第12回	生物⑫ 分類・進化基礎	種子植物の分類とそれぞれの特徴を理解する。		第27回			
第13回	生物⑬食物連鎖基礎	『食べる・食べられる』の関係を理解し、生物量の問題を考えていく。		第28回			
第14回	生物⑭ 基礎	問題演習		第29回			
第15回	生物⑮ 基礎	問題演習		第30回			

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	1	必修選択	必修
科目名	化学			担当教員	中沢雅子	時期	後期
単位数	2	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	化学の問題を得点源にするとともに、現代社会で利用されている科学技術に気付き、生活につなげていける基礎を身につける。						
授業の概要	テキストで基本的事項を暗記、問題の解き方を身に付け、演習ブックで類似問題を繰り返し解くことで定着させる。						
成績評価方法	出席状況と授業態度および定期考査						
使用教材	自然科学テキスト「化学」、自然科学確認ワーク「化学」、自然科学演習ブック「化学」						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	化学① 物質の構成 基礎	原子の構造を理解し、身の回りの物質のでき方を理解する。		第16回			
第2回	化学② 元素の周期表 基礎	元素の周期表を覚え、問題演習で定着させる。		第17回			
第3回	化学③ 化学結合 基礎	共有結合、イオン結合、金属結合を分類し、性質を理解する。		第18回			
第4回	化学④-1 化学反応と物質質量 基礎	化学反応式を作り、計算問題に活用できるようになる。		第19回			
第5回	化学④-2 化学反応と物質質量 基礎	化学反応式を作り、計算問題に活用できるようになる。		第20回			
第6回	化学⑤-1 物質の状態 基礎	気体・固体・液体といった物質の状態変化を理解する。		第21回			
第7回	化学⑤-2 物質の状態 基礎	気体・固体・液体といった物質の状態変化を理解する。		第22回			
第8回	化学⑥-1 酸と塩基 基礎	酸に共通な性質と塩基に共通な性質を理解する。		第23回			
第9回	化学⑥-2 酸と塩基 基礎	酸に共通な性質と塩基に共通な性質を理解する。		第24回			
第10回	化学⑦-1 酸化と還元 基礎	酸化・還元現象を理解し、計算問題まで演習する。		第25回			
第11回	化学⑦-2 酸化と還元 基礎	酸化・還元現象を理解し、計算問題まで演習する。		第26回			
第12回	化学⑧-1 無機物質と有機物質	様々な物質の性質を把握する。		第27回			
第13回	化学⑨ 気体の製法と性質 基礎	気体の特性を把握し、有害な気体の人体への影響を理解する。		第28回			
第14回	化学⑩-1 人間生活と化学 基礎	様々な金属の精錬方法を理解する。		第29回			
第15回	化学⑩-2 人間生活と化学 基礎	様々な金属の精錬方法を理解する。		第30回			

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	1	必修選択	必修
科目名	自己表現			担当教員	菱川容子	時期	通年
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	実習	授業場所	普通教室又は 大会議室
実務教員	○	実務経験	テレビ局でのアナウンサー経験を活かし、思いを伝えるのための発声や呼吸法等の指導を行う。				
授業の到達目標	「伝える力」を培い、あらゆる場面で役立つ表現力を身につける。						
授業の概要	基礎となる発声や呼吸法の練習のほか、あがり症克服のメンタルトレーニング、スピーチの基礎を織り交ぜながら、プレゼンテーションや面接など、場面を想定して練習を行う。						
成績評価方法	成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。出席状況と授業態度による。						
使用教材	プリント						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	目的・発声確認	目的・進め方・学びのポイント 発声チェック		第16回	説明力・図形	説明する力と聴く力を育む 地図の説明で実践	
第2回	あがり症	あがりのメカニズム アイスブレイク		第17回	伝える・聴く	伝える力と聴く力を育む 絵並べゲーム①	
第3回	腹式呼吸	腹式呼吸とは 腹式呼吸練習		第18回	伝える・聴く	伝える力と聴く力を育む 絵並べゲーム②	
第4回	発声と発音	発声のしくみと発声練習 正しい発音と発音練習		第19回	間・静と動	朗読により間をとる練習	
第5回	発声と発音	喉の開け方トレーニング		第20回	スピード	朗読でスピードコントロール練習	
第6回	表情と姿勢	表情筋トレーニング 姿勢チェック		第21回	音域	朗読で音域を広げる意識づけ	
第7回	自己紹介	原稿を考えグループ内で発表		第22回	言葉を紡ぐ	アウトプットの練習 与えられた題材からスピーチ	
第8回	自己紹介	クラスで発表		第23回	言葉を紡ぐ		
第9回	朗読	朗読でこれまでの学びの実践 ①腹式呼吸 ②姿勢 ③視線 ④強い発声		第24回	即答力	シャッフルスピーチで練習	
第10回	朗読			第25回	即答力		
第11回	身体	言葉を届ける身体トレーニング		第26回	朗読	朗読で学びを定着させる	
第12回	スピーチ	伝わるスピーチの学びと実践 与えられたテーマで原稿作成・発表 ①語尾 ②スピード ③間		第27回	面接	面接を想定し、姿勢、視線、表情、強い発声を軸に練習	
第13回	スピーチ			第28回	スピーチ	各自のテーマでスピーチ発表	
第14回	質問力	相手の話を聴くコミュニケーション		第29回	スピーチ		
第15回	社交不安症	赤面、視線恐怖などについて理解を深める		第30回	学習まとめ	1年の学びの総復習	

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	1	必修選択	必修
科目名	言葉力			担当教員	山極学	時期	前期
単位数	1	総授業時間数	30	授業形式	講義	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	「言葉は心に届いて初めて言葉」を目標に、読書によって得た美しい言葉を、自分の経験と重ねて「自分の言葉」にする。						
授業の概要	読み手の気持ちを考慮しつつ、相手に伝わる正しい文章を書く練習を重ねながら、自信を持って文章を書く力を養う。						
成績評価方法	出席状況と授業態度による						
使用教材	プリント						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	文章を書く目的	読み手を意識した文章の書き方					
第2回	映像を言葉へ	映像を読み手と共感する文章					
第3回	書くための準備	考える習慣を持つことの大切さ					
第4回	情報と知識	情報と知識の違いを理解する					
第5回	構成メモ	文章の設計図「構成メモ」					
第6回	文章の構成	様々な構成法を活用する					
第7回	時系列	時間の流れにそって書く文章					
第8回	マクロからミクロ	大きな視点から小さな視点へ					
第9回	主語と述語	主語と述語の関係を意識する					
第10回	修飾語と被修飾語	修飾語と修飾される言葉の距離					
第11回	文末の統一	「です・ます」と「である・だ」の違い					
第12回	読点・接続語・助詞	正しい使い方で文章をわかりやすくする					
第13回	指示語	「あれ」「これ」「それ」の違い					
第14回	話し言葉	話し言葉やら抜き言葉を使った文章					
第15回	まとめ	自分の言葉で伝える文章					

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	キャリアプランニング I			担当教員	堀内隼太	時期	通年
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	実習	授業場所	普通教室 パソコン教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	自己分析、各種公務員の職種研究など公務員試験突破に必要な知識とスキルを身につけ、公務員試験に挑戦するための準備をする。また、なぜ働くのか、働くにあたって大切にすべきことは何かを考え、必要とされる「人財」を目指す。						
授業の概要	公務員試験の申込みから二次面接までに必要なノウハウ（やり方）を理解すると共に、心構え（あり方）を学ぶ。また、業務説明会や裁判傍聴などを通して公務員の仕事を理解する。						
成績評価方法	成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。 出席状況、授業態度、課題内容・提出状況						
使用教材	各単元毎にレジュメ						
履修上の注意事項							
授業内容							
前期				後期			
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	就職対策授業①	就職に向けての心構え・ウエジョビでの過ごし方		第16回	電話	ビジネスにおける電話のかけ方	
第2回	業務説明会	外務省（国家公務員）		第17回	メール	ビジネスメール	
第3回	業務説明会	税務職員（国家公務員）		第18回	就職対策授業④	目的の大切さ	
第4回	就職準備	なぜ働くのか？話し合いまとめ 就職に向けて必要な心構え		第19回	就職対策授業⑤	就職活動実践編	
第5回	就職対策授業①	ウエジョビの歴史		第20回	美文字講座	線・円・手の動かし方	
第6回	就職対策授業②	3つの約束		第21回	美文字講座	美しいひらがなの書き方のコツ	
第7回	就職対策授業③	至誠を貫く		第22回	美文字講座	美しい漢字の書き方のコツ	
第8回	履歴書	学歴等		第23回	美文字講座	美しい文字を書くためのコツ ビジネスの場での美文字の必要性	
第9回	職種研究	ガイダンス		第24回	面接カード	添え状の書き方 封筒の書き方	
第10回	職種研究	国家公務員		第25回	裁判所傍聴	上田裁判所で傍聴	
第11回	職種研究	地方公務員		第26回	職業体験	上田市役所にて職業体験	
第12回	クラス活動	地元の公園・商店街などのごみ拾いボランティアを行う。		第27回	職業体験	上田警察署にて職業体験	
第13回	自己分析	自分の特徴を知る		第28回	ボランティア	2年生と合同で 地域のごみ拾い活動	
第14回	面接カード	自己PR		第29回	面接	面接試験対策 面接練習	
第15回	面接カード	望動機・やりたい仕事 長所・短所・趣味・特技・関心事		第30回	面接	面接試験対策 面接練習	

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	-	年次	1	必修選択	必修
科目名	パソコン実習 I			担当教員	(前期)清水美穂 (後期)中沢雅子	時期	通年
単位数	6	総授業時間数	180	授業形式	実習	授業場所	パソコン教室
実務教員	○	実務経験	WordおよびExcelの資格を持ち、検定にも関わった経験のある教員が指導する。				
授業の到達目標	Word・Excelの基本的な操作法を身につけ、活用することができる						
授業の概要	テキストで基本的な操作法を身につけ、全経 文書処理能力検定試験・MOS (Word・Excel) 資格取得を目指す						
成績評価方法	成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。 出席状況と授業態度および検定試験の成績						
使用教材	Microsoft Word 2019基礎、MOS Microsoft Word 2019対策テキスト&問題集、Typequick学校研修キットUSB版 Microsoft Excel 2019基礎、MOS Microsoft Excel 2019対策テキスト&問題集						
履修上の注意事項							
授業内容							
前期				後期			
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1～4回	タッチタイピング	タッチタイピングの習得		第51～53回	Word応用	文書処理検定 2級3級問題解説	
第5～8回	タッチタイピング	タッチタイピングの習得		第54～57回	Word応用	文書処理検定 1級問題解説	
第9～12回	Word基礎	文字の入力		第58～66回	Word応用	文書検定過去問題実施	
第13～16回	Word基礎	ビジネス文書の作成		第67～70回	Word応用	文書検定過去問題実施	
第17～20回	Word応用	表の作成		第71回	Excel基礎	Excelの基礎知識 データの入力	
第21～24回	Word応用	文書の編集		第72回	Excel基礎	表の作成 関数基礎～表示形式	
第25～28回	Wordの基本スキル	MOS Microsoft Word 解説		第73回	Excel基礎	四則演算 シート操作～印刷	
第29～32回	Wordの基本スキル	MOS Microsoft Word 解説		第74回	Excel基礎	データベース	
第33～35回	MOS WordI対策	MOS Microsoft Word模擬試験実施		第75～80回	MOS Excel対策	MOS Microsoft Excel 解説	
第36～38回	MOS WordI対策	MOS Microsoft Word模擬試験実施		第81～82回	MOS Excel対策	MOS Microsoft Excel模擬試験 実施 第1回	
第39～41回	MOS WordI対策	MOS Microsoft Word模擬試験実施		第83～84回	MOS Excel対策	MOS Microsoft Excel模擬試験 実施 第2回	
第42～44回	MOS WordI対策	MOS Microsoft Word模擬試験実施		第85～86回	MOS Excel対策	MOS Microsoft Excel模擬試験 実施 第3回	
第45～47回	MOS WordI対策	MOS Microsoft Word模擬試験実施		第87～88回	MOS Excel対策	MOS Microsoft Excel模擬試験 実施 第4回	
第48～50回	MOS WordI対策	MOS Microsoft Word模擬試験実施		第89～90回	MOS Excel対策	MOS Microsoft Excel模擬試験 実施 第5回	

2026年度 授業計画（シラバス）

学科	公務員総合科	コース	—	年次	1	必修選択	必修
科目名	プレゼンテーション I			担当教員	丸山めぐみ	時期	通年
単位数	8	総授業時間数	120	授業形式	演習	授業場所	普通教室 パソコン教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	自らが自分の考えを持ち、それを伝えるための手段や方法を身に付け、様々なプレゼンテーション演習を通して説明する力や相手を納得させることができる表現力の向上を目指す。						
授業の概要	プレゼンテーションの必要性を理解した上でテクニックを習得し、実際に発表する機会を数多く体験することで聞き手の心に届く発表ができるよう伝え方の上達を目指す。						
成績評価方法	成績評価は、前期・後期それぞれで行うものとする。 出席状況、授業態度、発表態度、作品完成度、発表会成績						
使用教材	脱「パワポっぼさ」のデザインテクニック（KADOKAWA）、オリジナルプリント						
履修上の注意事項	各単元の発表、合同プレゼン大会には必ず参加すること						
授業内容							
前期				後期			
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	プレゼンテーション概要	授業の目的、到達目標、授業の流れ・目的、プレゼンテーションとは		第31～38回	グループワーク 課題1	発表会準備（制作指導）	
第2回	プレゼンテーション講義1	アサーション技法		第39回		リハーサル	
第3回	プレゼンテーション講義2	聞き手の階層構造		第40～42回		合同プレゼン発表会	
第4回	プレゼンテーション講義3	論理的アプローチ 感情的アプローチ		第43回	伝える技術 (レクチャー)	アイデアをA3用紙1枚にまとめよう	
第5回	プレゼンテーション講義4	情報伝達のコツ わかりやすいプレゼンテーション		第44～47回	伝える技術 (実践)個人課題3	PowerPoint発表練習（制作） テーマ：ピブリオバトル	
第6回	伝える技術 (レクチャー)	ロジカルシンキング		第48回		実践（発表会）	
第7回		話の構成 序論・本論・結論		第49～53回	伝える技術 (実践)個人課題4	PowerPoint発表練習（制作） テーマ：地域活性（移住研究）	
第8回	伝える技術 (実践)個人課題1	スピーチ実践（発表）		第54回		実践（発表会）	
第9回	自己分析	マインドマップ制作 グループ内発表		第55～56回	伝える技術 (実践)個人課題5	賛否を問う 私ならこう考える	
第10～14回	伝える技術 (レクチャー)	PowerPoint操作		第57回	グループワーク 課題2	生活設計・マネープランゲーム	
第15～22回	伝える技術 (実践)個人課題2	PowerPoint発表練習（制作） テーマ：私の好きなもの		第58回		株式会社をつくろう 起業体験 株式会社設立シミュレーション	
第23回		実践（発表会）		第59回		求められる社会人像	
第24～25回	グループワーク 課題1	ブレーンストーミング・KJ法		第60回	まとめ	授業の振り返り	
第26～30回		合同プレゼン大会準備 テーマ：社会をよりよくするアイデア					

2026年度 授業計画（シラバス）

学科	公務員総合科	コース	－	年次	1	必修選択	必修
科目名	ビジネス基礎			担当教員	堀内隼太	時期	通年
単位数	2	総授業時間数	60	授業形式	実習	授業場所	普通教室
実務教員		実務経験					
授業の到達目標	漢字読み書き、電卓操作、仕事に必要な実務的計算方法等を習得し、それぞれの検定試験（3級以上）合格を目指す。						
授業の概要	ビジネスの場において、社会人として身につけておきたい基礎的な知識・技術について幅広く学習する。						
成績評価方法	出席状況 授業態度 検定結果						
使用教材	電卓計算能力検定試験練習問題集・伝票計算問題集(全経)、漢字学習ステップ、計算実務直前模試、社会人常識マナー検定テキスト2・3級						
履修上の注意事項	検定試験の合否や結果も成績に加味されるので、必ず受験すること。						
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	電卓☒	電卓の基礎・操作方法①☒		第16回	漢字検定対策	過去問題・書き取り	
第2回	電卓	電卓の基礎・操作方法②		第17回	漢字検定対策	過去問題・書き取り	
第3回	電卓	乗算・除算		第18回	計算実務	「直前模試」を使って 解き方の説明	
第4回	電卓	見取り算・複合算		第19回	計算実務	「直前模試」を使って 解き方の説明	
第5回	電卓	伝票算・セット計算		第20回	計算実務	「直前模試」を使って 解き方の説明	
第6回	電卓	セット計算☒		第21回	計算実務	「直前模試」を使って 解き方の説明	
第7回	電卓	セット計算☒		第22回	計算実務	直前模試	
第8回	電卓	セット計算☒		第23回	計算実務	直前模試	
第9回	電卓	セット計算☒		第24回	計算実務	直前模試	
第10回	漢字	受験級決め過去問題		第25回	計算実務	直前模試	
第11回	漢字検定対策	過去問題・書き取り		第26回	社会人常識マナー	テキスト	
第12回	漢字検定対策	過去問題・書き取り		第27回	社会人常識マナー	テキスト	
第13回	漢字検定対策	過去問題・書き取り		第28回	社会人常識マナー	過去問題	
第14回	漢字検定対策	過去問題・書き取り		第29回	社会人常識マナー	過去問題	
第15回	漢字検定対策	過去問題・書き取り		第30回	社会人常識マナー	過去問題	

2026年度 授業計画 (シラバス)

学科	公務員総合科	コース	—	年次	1	必修選択	必修
科目名	簿記 I			担当教員	清水美穂	時期	通年
単位数	3	総授業時間数	90	授業形式	実習	授業場所	普通教室
実務教員	○	実務経験	簿記の資格を持ち、伝票整理や帳簿管理棟の経理業務に従事してきた経験を活かし、各種取引に伴う簿記の基礎について指導を行う。				
授業の到達目標	資格取得の為、試験に合格できるだけの力を養うと共に、初めて触れる簿記というシステムの面白さと奥深さに触れられるようにする。						
授業の概要	仕訳をメインに扱い、力がついてきた所で各表の作成を順次扱っていく。						
成績評価方法	出席状況・授業態度と定期考査・検定試験の成績						
使用教材	全経簿記能力検定試験公式テキスト、全経簿記能力検定試験公式問題集、分野別問題集、最新過去問題集						
履修上の注意事項							
授業内容							
	単 元	内 容			単 元	内 容	
第1回	簿記の概要	簿記とは何か、五要素、仕訳の説明		第15回	転記まとめ	転記演習	
第2回	主な勘定科目	現金や掛取引にまつわる勘定科目 簿記に関わる漢字練習		第16回	商品売買	三分法と売上原価対立法	
第3回	主な勘定科目	手形にまつわる勘定科目 簿記に関わる漢字練習		第17回	決算の概要	決算とは、試算表の作成	
第4回	主な勘定科目	未収金、未払金、前受金、前払金		第18回	決算整理仕訳	売上原価の算定、貸倒れの見積もり	
第5回	主な勘定科目	仮払金、仮受金、立替金、預り金		第19回	決算整理仕訳	消耗品の処理、費用の見越し繰延バ	
第6回	主な勘定科目	現金過不足、小口現金、消費税にまつわる勘定科目		第20回	決算整理仕訳まとめ	決算整理仕訳演習	
第7回	主な勘定科目	有価証券にまつわる勘定科目、減価償却とそれにまつわる勘定科目 簿記に関わる漢字練習		第21回	精算表	精算表の作成概要	
第8回	仕訳まとめ	仕訳演習		第22回	精算表	精算表の作成演習	
第9回	仕訳まとめ	仕訳演習		第23回～ 第26回	第1問対策	分野別問題集に取り組む	
第10回	転記	仕訳帳から総勘定元帳への転記		第27回～ 第28回	第2問対策	分野別問題集に取り組む	
第11回	転記	仕入帳、買掛金元帳、売上帳、売掛金元帳への転記		第29回～ 第30回	第3問対策	分野別問題集に取り組む	
第12回	転記	商品有高帳への転記		第31回～ 第32回	第4問対策	分野別問題集に取り組む	
第13回	転記	小口現金出納帳への転記		第33回～ 第34回	第5問対策	分野別問題集に取り組む	
第14回	転記まとめ	転記演習		第35回～ 第45回	問題演習	実際に出題された過去問を中心に、弱点克服に向けて演習に取り組む。	